

# 令和2年度

## まちづくり推進部 平鹿地域局の方針書

組織名	まちづくり推進部 平鹿地域局
所属長名	柴田 浩美

### 1. 組織の使命(ありたい姿)

多様化する住民ニーズに的確に対応できる地域の身近な行政サービスの拠点として、住民満足度向上に取り組みます。

### 2. 組織の抱える課題(現状)

- ①地域住民の身近な行政機関として、情報を共有し、多様な住民の声や要望をしっかりと聴く必要があります。
- ②協働のまちづくりの基盤となる自治組織活動の底上げを図り、全体でまちづくりの方向性を共有する必要があります。
- ②職員及び会計年度任用職員のコンプライアンス意識の強化を図る必要があります。

### 3. 今年度の『スローガン』

行政サービスに遠慮はしません！

### 4. 今年度の方針

- ①市民から親しまれ、信頼される地域局づくりの推進
- ②地域の特性を活かした魅力ある産業・観光の推進
- ③安全・安心な地域づくりの推進

### 5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民から親しまれ、信頼される地域局づくりの推進
	取組内容	①お客様へのあいさつ、職員間のあいさつを心掛け、明るい職場づくりを目指します。 ②来庁されるお客様へは、親切・丁寧・正確かつ迅速な対応を行います。 ③変化に対応できるコミュニケーション力を身に着けます。
(2)	実現したい成果	地域の特性を活かした魅力ある産業・観光の推進
	取組内容	①地域に根付く伝統・文化を活かした観光の推進を図ります。 ②人を呼び込み、賑わいを感じさせる各種イベントによる観光地づくりを推進します。 ③民間事業者などとの連携により各種イベントの情報発信に努めます。
(3)	実現したい成果	安全・安心な地域づくりの推進
	取組内容	①平鹿地域の「火災予防・交通事故防止・防犯」の啓発を図ります。 ②地域住民の要望へ迅速・的確な対応をします。 ③補助金活用によるコミュニティ組織の活性化と自主活動を支援します。

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 市民から親しまれ、信頼される地域局づくりの推進
  - ・定例開催の課長・係長会議において情報共有を図り、適切な市民対応に努めた。
- (2) 地域の特性を活かした魅力ある産業・観光の推進
  - ・新型コロナウイルス感染症対策により各種イベントが中止となった。
  - ・あやめまつりは中止となったが、県内主要駅にあやめのプラントー及びパネルを掲示し引き続きPRを行った。
- (3) 安全・安心な地域づくりの推進
  - ・平鹿地域交通死亡事故ゼロ1,000日(5/27)を達成した。
  - ・大雨対応による避難所を2回(7/27・8/8)開設した。〔避難者なし〕
  - ・平鹿地域かわら版を発行し、各種補助金制度について周知を行った。

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 市民から親しまれ、信頼される地域局づくりの推進
  - ・市民の依頼内容・目的を正しく理解し、丁寧な対応に努める。
- (2) 地域の特性を活かした魅力ある産業・観光の推進
  - ・第20回平鹿りんご味覚まつりは規模を縮小し開催する。合わせて、DMOと連携した観光地創生支援事業を行い、地場産品のPRに努める。
  - ・第33回槻ノ木光のファンタジー点灯式における民間保育所との連携によるイベントの充実を図る。
- (3) 安全・安心な地域づくりの推進
  - ・協働のまちづくり会議を開催し、各種補助金制度について周知を図る。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 市民から親しまれ、信頼される地域局づくりの推進
  - ・窓口アンケートを行うと共に、積極的な声掛けを実施し、市民ニーズに寄り添った行政サービスができた。
- (2) 地域の特性を活かした魅力ある産業・観光の推進
  - ・コロナ過の影響で様々なイベントが中止または規模を縮小しての開催であった。次年度は、工夫したコロナ感染症対策を行ってのイベント開催とする。「あやめまつり」においては、JR横手駅との共催に向け早期に協議を進める。
- (3) 安全・安心な地域づくりの推進
  - ・補助金制度については、町内会等活動補助金4件・町内等備品整備補助金4件・集会施設整備費補助金3件・地域づくり活動補助金1件の実績であった。次年度においても、平鹿地域かわら版等で周知し、地域づくりの推進を図る。
  - ・除雪体制については、大雪により35回の早朝除雪であったが、安全・安心な除雪作業の徹底を図り、3年連続で無事故を達成できた。